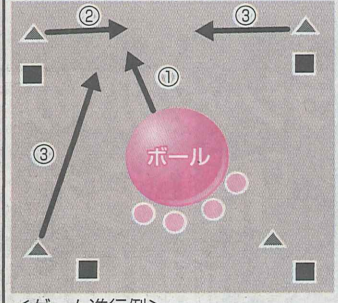


みんなでキンボールスポーツ

日本代表クラスの男子チームを相手に、敗れたものの1点差の接戦を演じたわがチーム日刊。女子になら勝てるかもと、身のほど知らずの野望を抱いての、体験レポート第2弾です。勝てそうで勝てない、でも楽しめる。そんなキンボールスポーツの奥深さを知ることが出来ます。

◆堀江由衣 (ほりえ ゆい)
9月20日 東京生まれ。10年4月 榊原実乃梨役、「化物語」の羽川 回音優アワードで、助演女優賞受賞。歌手としては、09年に日本賞。主な出演作は「Fairy Tail」のシヤルル役、「とら」は読書、血液型B。

◆チーム日刊体験記
基本プレーを大まかに覚えて、試合の進め方も分かってきた。最大2対4(大会によって違う)のコート内ならどこにいてもOK。1チーム4人で、3チームが同時にプレー。レシーブできない自分たち以外の2チームに加点。イメージがつかめない人は、イラストを参照して下さい。さて、男子チームに挑戦の末に敗れた日刊アラフォー軍団だが、「皆さん、筋がよいですよ」とはめられ、



◆ゲーム進行例>
①●(ピンク)が「オムニキン、グレイ！」とコールして、ボールをヒット
②▲(グレー)はボールをレシーブ。
③▲(グレー)の他の3人はボールに近寄ってセットし、コールしながらヒット ※■はブラックチーム

◆8変化
クみたいな両手を挙げ、ボールの前に立ち、得点の高さ。攻撃側は非常にヒットしづらい。こうなると、勝てる気がしない。最後のスコアは、ピンクの日刊12、ブラック10点。接戦3連敗に終わった。それでも、3戦すべてが接戦だった。初心者でも十分楽しめた。一力の差はあっても、接戦になるように、なっていることを教わられた。なるほど、それがキンボールスポーツのいいところ

◆問い合わせ キンボールスポーツをもっと詳しく知りたい方は、公式ホームページhttp://www.kinball.jp/ ボールスポーツ連盟



「オムニキン！」と叫んで強烈なヒット。上級者はドライブ回転など変化球を繰り出せる

◆はんなりキンボールスポーツ春の大会2011 (4日・長岡京市西山公園体育館)
ジュニアの部 優勝 ペコちゃんズ 準優勝 第2向陽小
ジュニアーズチーム 優勝 第2向陽小 準優勝 フレンドリーの部



歌手として 声優として

「DOG DAYS」は最近少なくなったと言われる、正統派ファンタジーアニメですね。堀江 確かにファンタジーは一時より減りましたね。「DOG」はお姫様が勇者を召還する

とは真逆ですね「DOG DAYS」の世界観に、1番合うという前提で作らせていただきました。明るさやさわやかさが突き抜ける感じや、スポーツ感覚の戦闘シーンが多い。軽快感、疾走感が出ればいいなと歌と作品とリンクしていると思います。「舞台の」フロニアルドにようこそじゃないですけど、草原やさわやかな感じをイメージしているの、朝や元気にしたいときに聞いて欲しいですね。

明るくさわやかでファンタジック



ペーパーマン



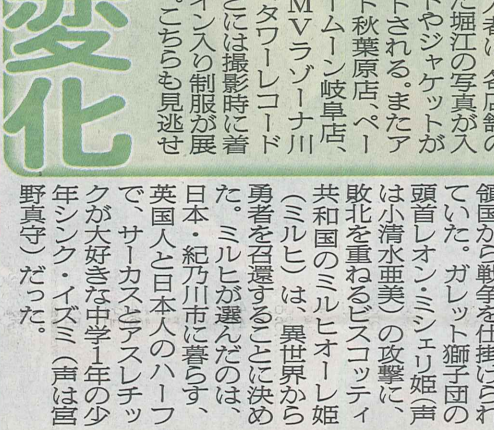
とらのあな



アニプロゲーマーズ



アニメイト



TUTAYA



タワーレコード



HMV

◆DOG DAYS 戦争が多発する世界・フロニアルドのビスコッティ共和国は、隣国ガレット獅子団の侵略を仕掛けられ、ガレット獅子団の頭目レオン・ミンチエリ姫は小清水亜美の攻撃に敗れ、重傷を負った。共和国のミルヒオレ姫(ミルヒ)は、異世界から勇者を召還することに決めた。ミルヒが選んだのは、日本・紀乃川市に暮らす、英国人と日本人のハーフで、サカサとアスレチックが大好きな中学一年生の少年シンク・イズミ(声は宮野真守)だった。

の現場から、どんどんつぶやきます!! アニメ系イベントの、耳寄り情報がゲットできるかも? また「アニメ!!パンチ」が紙面を飛び出したスピノフ番組「ムラカミ記者のアニメ!!パンチ」が、文化放送・超A&G+で放送中です。放送は毎週水曜午後4時(再放送は木曜午前6時)からで、毎月第1、3水曜更新。アニメ記者ムラカミが、最前線でゲットしたアニメ情報などが盛りだくさん!! 紙面、公式ツイッターともにお楽しみ下さい!!

白石キャラソンカバー 堀江も所属するキングレコードのアニメ&声優レーベル・スターチャイルドの関係者向けコンベンションが17日、都内で行われた。映画「劇場版 魔法先生ネギま! ANI

児玉清さん死去で「アタック25」続行か終了か

制作の朝日放送でもコンセンサスとれず 故児玉清さん(享年77、写真)の司会で、36年続くテレビ朝日系「パネルクイズ アタック25」が終了するかもしれない。もちろん、制作の朝日放送(大阪市)では、代役を務めてきた浦川泰幸アナウンサー(39)で続行を第一前提とする。ただ、すでに「じゃあ、浦川で」と、局内のコンセンサスがとれないでいる。その理由は、アタック25は、児玉さんの人柄そのものが作った番組だからだ。数年前、収録見学に行ったとき、痛感した。通常、30分番組



だと、収録は40~50分ほどだが、この番組は、本番のカメラさえ回れば、収録は30分にも満たない。ほぼ放送枠の尺通りにピッタリ終わるのだが、その前が長い。観客を入れ、解答者4人が座り、ウォーミングアップが始まる。練習問題を出題し、実際にパネルを選ばせていく。その際、

児玉さんを選ぶ)ここは「材料」が少なくてアドレナリンが軽く超えられない、人だからじゃない、毎